

令和6年度「高校生ものづくりコンテスト
(電子回路組立部門)」第20回山口県大会
(兼ものづくりコンテスト「電子回路組立部門」講習会)

実施要項

1 目的

工業技術立国を目指す日本のものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれる現在、我が国の産業の継続的発展を維持するためには、産業の発展を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年の技術者・技能者を育成することが重要である。

本県においても高校生ものづくりコンテストを実施することにより、工業を学ぶ高校生の技術を競う機会を設け、ものづくりへの関心を高めるとともに技術・技能尊重の社会的機運の醸成を図る。

なお、本大会は、来年度行われる中国地区大会予選会を兼ねており、成績優秀者4名を山口県代表として推薦し中国地区大会へ出場させる。

2 主催 山口県工業教育研究会

3 後援 山口県産業教育振興会

4 主管 山口県立徳山商工高等学校

5 期日 令和7年1月25日(土)

6 会場 山口県立徳山商工高等学校

7 日程

時間	日 程	
9:00	受付・準備・講習「はんだ付けの最先端技術」	
9:50	開会式 競技準備 競技説明、材料・資料等の確認 工具準備、ハンダごて加熱 その他	役員打ち合わせ
10:30	競技開始	審査・作業動作評価 ※役員昼食
12:30	競技終了	
12:30	プレ審査(プログラム課題審査)	審査・プログラム動作確認
13:30	審査(プレ審査終了後直ちに) 後片づけ ※生徒昼食(生徒控室)	審査・回路審査 集計
15:00	審査結果発表・表彰式・閉会式 (講評・個別アドバイス) 解散	

8 参加資格・人数

山口県工業教育研究会に属する高等学校の1・2年とする。ただし、参加生徒は各校2名までとする。

9 参加費用

不要

10 運営組織

(1) 大会委員長

山口県工業教育研究会会長

(2) 運営委員

会場校および近隣校の教員

(3) 審査委員

株式会社NFデバイステクノロジー様、引率の先生方にも協力をお願いする予定です。

(4) 競技委員

大会参加校の引率教員（会場校の教員含む）、競技の運営ならびに審査補助を担当する。

11 競技課題および審査基準 ※注

(1) 採点項目と観点

項 目	配 点	観 点
設 計 力	10	・ 図面の正確さ、完成度 ・ 部品配置の合理性 ・ 記号、文字
組 立 技 術	40	・ 外観（部品の配置、レイアウト） ・ 部品処理（取付、損傷） ・ はんだ付けの状態 ・ 動作状況 ・ 工具及び部品の取扱い
プログラミング技術	40	・ 動作の完成度 ・ プログラムの構造 ・ プログラムの書式、可読性
そ の 他	10	・ 作業態度 ・ 作業工程
合 計	100	

合計点の高得点から1位、2位、3位と順位を付ける。同点の場合は、「組立技術」得点の高い者を高位に、更に同点の場合は「プログラミング技術」得点の高い者を高位に、更に同点の場合は、「設計力」得点の高い者を高位とする。それでもなお同点の場合は、全体の完成度から順位を決定する。

12 表彰

最優秀賞（1 位） 1名

優 秀 賞（2 位） 1名

優 良 賞（3 位） 1名

それぞれ賞状を授与する。

13 その他

◎大会までの流れ

- 令和6年12月13日（金） 本申込期限
- 令和6年12月21日（土） 指導者講習会
- 令和7年 1月25日（土） 県大会